



子どもたち一人一人が笑顔ですごく学校をめざして



6月6日(金)の3・4時間目のことです。運動場で、1年生の交通安全教室が行われていました。ちょうどその時、横のプールでは6年生がプール掃除をしていました。少し離れた畑では黙々と耕運機で作業をされている姿が見えました。学校はそれぞれの目的や願いのもとに、様々な活動がされているところだと改めて思いました。

交通安全教室:1年生

6月6日(金)八幡西区PTA母の会の主催で、八幡西区役所や交通公園の方が学校に来られ、1年生対象の「交通安全教室」が開かれました。小さな子ども達は一つのことに夢中になったり、気を取られたりするとほかのことに注意がいなくなる傾向があります。本校の校区は交通量が大変多いところが何か所もあります。交通ルールをしっかり守りまわりに注意を払っていくよう学校でも指導いたします。ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。



プール掃除:6年生

6年生が、力を合わせて、プールをきれいにしてくれました。一生懸命働く6年生の姿を見て、頼もしいなあと思いました。おかげで、全学年が気持ちよく水泳の学習ができます。毎年、消防署の方をお願いして教職員も救命救急講習をしています。今年も、安全に気を付けて学習を進めます。



畑のお世話

毎年、スクールヘルパーの山本さんが、畑のお世話をしてくださいます。子ども達が作物を育てやすいように、畑を耕したり、畝を作ったりしてくださいます。暑い中、汗をびっしょりかいてがんばってくださる姿に本当に頭が下がります。いつもありがとうございます。



まちたんけん:2年生:生活科

2年生は、3回に分けて、生活科の「まちたんけん」に行っています。学校の近くの消防署、折尾東市民センター、郵便局などにでかけました。子ども達は今まで行ったことのない場所に行って、びっくりしたり感心したりしています。3年生の社会科でも同じように「まちたんけん」にでかけるのですが、ちがいはどこにあるのでしょうか。2年生の「生活科」の目標は「自立の基礎を養う」ことです。いろいろな場所をたんけんしながら2年生は自分とのかかわりでとらえます。「ここは今まで知らなかったけど、今度いってみよう。」というように自分の世界を広げていきます。3年生の「社会科」の目標は「公民的資質の基礎を養う」ことです。ここでは、大きな道路の周りにはみんなのための施設が多い。それは、利用する人が来やすいようにするためだ。」というように社会のものごとを結び付けて考えながら世の中の仕組みについて学んでいくのです。



世界の果ての通学路

先日、「世界の果ての通学路」という映画を見に行ってきました。

アフリカの草原に住む兄と妹の兄弟は、象に襲われることを避けながら数時間かけて学校まで行きます。モロッコの山奥に住む少女は山道を何時間もかけて、足を痛めた級友を気遣いながら通います。インドの車椅子に乗る少年は兄弟と一緒に毎日車イスで学校まで通います。途中でトラブルもありますが、力を合わせて乗り越えています。

彼らはなぜ、そんな苦勞をしながら学校に通うのでしょうか。

映画を見ながら彼らに共通していることを見つけました。

「ぼくは、奨学金をもらって勉強を続けてパイロットになる。そして世界中を見て回りたい。」「私は山奥の子ども達が安心して学校に通える助けになるような仕事につきたい。」「ぼくは医者になって、ぼくのような子の力になりたい。」

みんなそれぞれの目標をしっかり持っているのです。その目標をかなえるために、学校でしっかり学びたい。学校に行くための目的意識がしっかりあるから、何時間もかけて学校に通うのです。何時間歩こうとその表情は明るく希望をもっていました。そして、「学校に行ったらしっかり勉強をしてくるんだよ。」と彼らを励ましあたたかく応援している家族の姿がありました。日本の子ども達や子ども達の周りにはいる私たちも、子ども達にとって何が大切なのかについてしっかり考えていかなければいけないなあと思いました。